

陸軍部 第一一八八號

陸軍部 第三七號

陸軍部 第三七號

陸軍部 第三七號

陸軍部 第三七號

大臣

大官

軍事

醫務

2491

十月

一日

日

號

三

第

明治三十七年九月二十六日

候間此後報告候也

關之別紙通り第六憲兵隊長より報告有之

郡三角町へ轉地療養中九傷病兵ノ状況

現今熊本陸軍隊補病院より熊本縣下宇土

現今熊本陸軍隊補病院より熊本縣下宇土

陸軍大臣寺内正毅殿

憲兵司令官林志夫

陸軍部 第三七號

憲兵司令官

第六憲兵隊長報告

九月十四日

熊本陸軍豫備病院目下縣下宇土郡三角町、轉地療養中、傷病兵ニ関スル状況
尤、如シ

一、曩ニ縣下宇土郡三角町、熊本陸軍豫備病院収容患者療養所ヲ開設セラル、ヤ同町ニ於テ傷病兵ニ對テ待遇上ニ付特ニ事務所ヲ設ケテ傷病兵ト地方人民間ニ於テ諸般ノ事務力ヲ処作シ不甚便宜ヲ興ヘマシ其一例ヲ舉グル、各宿舍ニ於テ献立、如キ甲乙均

シカラシムルガ爲ノ
 該事務所ニ於テ一定シ軍医ノ承
 認ヲ得ル後各宿舎ニ配布シ之ニ依リテ同
 ノ供養ヲ爲シテ、又カ如キ其他療養所ヨリ
 禁止セシムル飲食物等ニ就キ該地警察署
 ト協力シ用意周到願ハル衛生ニ努力シ居テ
 二、傷病兵ノ取締ニ付テ一定ノ散歩區域ヲ
 区畫シ殊ニ遊廓等アルテ當局者ハ療養所
 開始ノ當初ニ於テ之ニ注意スル処アリタリ
 一般傷病兵ノ態度頗ル靜肅ニシテ周
 敵ナシモ時日ノ經過ト共ニ次第ニ其ノ狀態ヲ
 一変シ昼夜ヲ問ハズ規定ノ散歩區域ニ出

遊し殊々厚暮、頃ヨリ三々伍々海岸、徘徊
 し遂に遊廊ニ入り娼妓ト戯れ登樓遊興を
 たりて至りしヲ以テ過飯未時々憲兵ヲ派遣
 し之ヲ取締、努メシメん結果風紀大に改善
 し来りたる尚一層風紀ノ嚴肅及衛生ヲ保持ス
 る就テ留守師團長、病院長等ヨリ協議アリ
 二付該地警察署長ト協議ノ上日署、各樓
 至ラ招致し傷病兵ノ療養上ニ付其要領ヲ
 談し尤ノ事項ヲ承諾セシメり
 一傷病兵ミテ登樓セトスルモノ有キハ之ヲ謝絶
 云々

云々

四、君し營業上謝絶スル能ハザル、是夜間九

時過、登棲者凡十、之ヲ警察署(出張署ニトキ)

(憲兵ニ申告スル事)

い、憲兵警察官ノ尋問ヲ受ケル場合ハ之ヲ隠秘

セザル事

三、三角田ニ於テ郵便局ニ就キ療養兵カ卿臣

ヲ送金ヲ受ケ、扶成ヲ聞ク事ヲ種々方法

ヲテ確實ニ調査スルニ能ハサズ、受領者一日平均

五名内外ニシテ其金額一名約参円位ナリ之レ

等金負ニ遊興ノ費ニ充テルモト思様セリ

四、傷病兵、周絶スル奈ルニ状体ヲ望ミニ事

又、思該地之幹部負及看護長等交代
頻繁ニシテ加之現役軍医及看護長漸次出征
シ現今概テ豫後備役又ハ雇入クニテ補充セ
ル結果自然其取締方弛緩スニ至リ
テナリ

五、目下療養中ノ傷病兵ハ參百貳拾名有

(終リ)

憲兵司令部